

11月20日(木) 午後の部

TOC実践事例発表

事例発表1-1

TOCにおける「人」とは何だろうか？

たまサポートサービス
代表 柴橋 学

私は2019年・2023年と抵抗の6階層における「階層0（レイヤー0）」と称して「人の問題」について取り組んできました。

ただ、そもそもTOCの知識体系全体において「人の問題」とは何なのか？ 階層0という位置づけでいいのか？ といったことや、生成AIなどの技術革新が目覚ましい今、これまでと同じ捉え方でいいのか？ など、あらためて「人の問題」について整理してみたいと思います。

事例発表1-2

期間型バッファマネジメント（DBBM）：
”PMBOK脳”にも優しいTOCの入り口

プロジェクトコンパス
西山 哲人

納期遅延や計画の形骸化に悩む中小組織に対し、DBBM（期間型バッファマネジメント）は、クリティカルチェーンを特定せずPJ全体の工期からバッファを算出・管理する手法。専用ソフトを必要とせず、CCPMに比べて敷居が低いため、予算や人材に限りのあるばあいでも現実的に実践可能。PMBOK型の思考にTOCロジックを自然につなげることで、将来的なCCPM導入に向けた心理的ハードルを下げる“思考の架け橋”。

事例発表1-3

①お客様への提案書にて、
ランチを活用することでお客様との
認識の一致および納得感を実現（仮称）
②ATTの活用で
チーム内の引継ぎ見える化（仮称）

株式会社メディアテック
ITS技術部 係長 山本 将嗣
ITM技術部 主任 中右 雅之

【発表内容①】グループ会社向けに提供しているクラウドサービスでインシデントが発生した際の対応方法に問題がありました。その問題をランチを活用し改善した事例です。

【発表内容②】開発チームの引継ぎはいつも何かうまくいかないことが多いです。それをATTを利用して因果関係を明確にし関係者で見える化を行い引継ぎを行った事例です。

事例発表1-4

攻めの品質部門が導く
ミドルアップ伴走型組織変革の事例

パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社
品質・環境本部
安全・品質部 主務
北嶋 泰彦

新商品開発プロセスへのCCPM導入を推進し、ゆとり創出による持続可能な組織変革を目指しています。

トップダウンや、現場からのボトムアップだけでは難しい課題に対し、ミドル層の想いを育て融合させた実践例と、持続的な変革の要点を紹介します。

11月20日(木) 午後の部

TOC実践事例発表

事例発表1-5

人のせいにしない仕組み作り

株式会社サンタフェ
代表取締役 星野 玄
TOC事業部 部長 榎田 朋子

弊社はTOCの1つの柱であるPeople are goodの視点で、社内のあらゆる問題にあたっています。今回はその中でも主に社内教育、環境整備の事例を使って"People are good"をどのように捉えて、どう活用しているのかを発表させていただきます。

事例発表1-6

NPO運営の10年の中で
ゆるく実践してきたTOC

NPO法人 全体最適の行政マネジメント研究会
理事 竹ノ下 知子

2016年02月02日に設立したNPO法人全体最適の行政マネジメント研究会は、NPO設立前の任意団体のころからセミナー運営にTOCを使ってきました。

当研究会では、行政職員、民間企業社員など様々な立場や知見を持ったメンバーで全体最適の問題解決手法を学びながら、参加者の方々（特に行政職員の方）が持っている現実の問題の解決に取り組むことに拘って運営してきました。様々な分野の人たちに参加いただいて、「全体最適のマネジメント理論」を活用し、「お金を使わず知恵を使って」を合言葉に、日本をよくするために知恵を出し合い、問題解決に取り組んでいます。

当研究会のイベント冒頭で定番になっている主催者の認識合わせや、イベントの準備、ふりかえり、組織のゴールの共有などいたるところで（ゆるく）活用しているTOCのツールをご紹介します。